学ばせ方改革委員会活動報告　　R2.12.4

1　学ばせ方改革委員会とは

本校の教育重点目標を達成するために、授業の研究開発・提案を行う組織が本委員会である。令和２年度は教務課、SSH 推進課、図書研修課と連携を取りながら、授業改善を進めている。

２　令和２年度の取組

●提案授業の実施

具体的内容

①学ばせ方改革委員会としての本年度のテーマを決め、それをもとに文系分野グループ・理系分野グループで授業構想を練る。

②グループを代表して２名の授業者が授業を行う。

③授業後に協議会を開き、授業を振り返る。

※授業デザインについて協議している様子

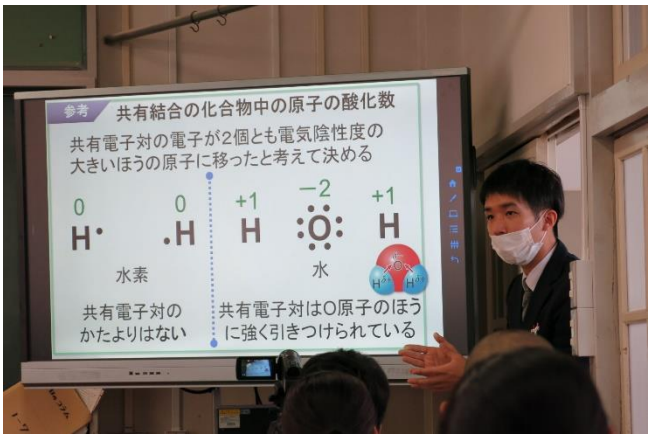
文系分野グループ

理系分野グループ

※実際の授業の様子

文系分野グループ　　テーマ：高大連携授業

理系分野グループ　　テーマ：反転学習



※協議会の様子

●日時：１１月２７日（金）１４：００～１５：００　視聴覚教室

●協議会テーマ：反転学習を活用した授業作り

●協議会の流れ

①授業者による自評。質疑応答。

②個人でテーマについて考えた後、グループで協議する。

③グループごとに発表。全体で共有する。

④反転授業の実践例を委員会より提示。

⑤教頭先生より

授業者による自評
質疑応答

グループ協議

グループで協議した内容を発表し、共有する

委員による実践例発表

教頭先生講評

参加者の声

・初任研が終わり、他教科の先生方の授業に関する意見交換をする機会がなかったのでとても貴重だった。
・全員参加ではなく、希望制だったので有意義な時間になったと思う。
・授業を振り返るための新しい視点を持つことができたのがよかった。
・反転授業に対して＋の面だけでなく、－の面も合わせて協議でき、勉強になった。
・具体的な課題が多く見えたので非常に勉強になった。
・先生方の新しい取り組みをいろいろと聞くことができ、大変勉強になった。（反転学習について）自分の教科での取り入れ方はまだいい案が浮かばないが、いつかやってみたい授業法ということで持っておきたいと思う。
・若い先生方が一生懸命にどのようにしたら生徒の力を伸ばすことができるのかという思いで授業の工夫を考えていらっしゃることに大変刺激を受けた。

３　成果と課題

今年度初の試みとして、委員自らが提案授業を行った。特に授業改善につながる授業の手法について提案し、同一教科の先生だけではなく、他教科の先生方も協議に参加できることをねらいとした。

授業後の協議会においては、反転学習に焦点を当て、授業の中でどのように活用できるかということについて協議していただいた。会では活発に意見交換も成されており、有意義な時間となった。

また、協議する中で、反転学習の難しさも話題になり、どのような場面で活用すれば効果的であるのか、成果をどのように検証すべきかということについても議論した。委員の先生方も自分なりに勉強して、先生方に情報を提供しており、このことは大いに他の先生方の刺激になったようである。

しかしながら、協議会の参加者は、希望制とはいえ、少人数であったので、次年度はもっと多くの先生方に参加していただけるようなテーマを考えていきたい。